

茨特 P 連・茨知 P 連合同研修会（講演会）報告

「障害のある子どもたちへの長期的な支援

～定期的に療育機関に関わっていくことの大切さ～

放送大学客員教授・大洗町教育委員会副教育センター長 水口 進 氏

（公認心理師、臨床心理師）

第2回会員合同研修会が、令和4年10月4日（火）に行われました。今年度は、本校が担当校ということで、本部役員を中心に研修会を進めていきました。

今回も、新型コロナウイルスの対策として会場を各学校とし、オンラインで県内25校に配信を行いました。希望者には、YouTubeでの限定配信も行い、本校からも32名の保護者の参加があり、とても有意義な研修となりました。



研修後のアンケート結果

○内容について

- ・実例をあげながらお話されていたので、とても聴きやすかったです。動作法を試してみたいと思いました。
- ・療育の方法など、より具体的なお話をもっとお聞きしたい部分がありました。長期的な療育などのデータでの提示は参考になりました。ありがとうございました。
- ・長年の実践活動の中から具体的な事例を紹介いただきたいへん興味深かった。単純に話としても面白く、講義時間も気にならなかった。講義全般を通して、子の療育と共に、その子供と接する親又は家族に対するケアが必要との信念がよく伝わってきました。
- ・卒業後の余暇活動の話題が興味深かったです。子どもに楽しく続けられる趣味や運動を見つけてあげたいと思っていましたが、自分と一緒に楽しめるものから広げてあげられるといいと思えました。「やってあげなきゃ」から「一緒に楽しもう」と思えたのは大きな収穫です。

等